

聖書の年代計算

エルサレム陥落AD70年を起点にアブラハム契約までさかのぼる

$$*7, 7 \times 7 = 49, 50$$

7年ごとの安息年、7年が7回の49年、
そして50年目はヨベルの年（レビ記 25:）
初穂の日から7週49日、50日目は五旬節、七週祭（レビ記 23:）

創 12:4 アブラムはハランを出たとき**75歳**であった。

BC 1827 アブラハム契約 75才

430

出 12:40-41 イスラエルの子らがエジプトに滞在していた期間は、**430年**であった。
430年が終わった、ちょうどその日に、主の全軍団がエジプトの地を出た。

BC 1397 エジプトを出る

480

1列 6:1 イスラエル人がエジプトの地を出てから**480年目**、
ソロモンがイスラエルの王となってから**4年目**・・・、主の家の建築に取りかかった。

ソロモンが神殿建築を開始（礎を据える）

1列 6:38 神殿のすべての部分が設計どおりに完成した。7年かけて建てたのである。
1列 7:1 また、ソロモンは**13年**をかけて自分の宮殿を建て、すべてを完成させた。

BC 910 ソロモンの神殿が完成

500

BC 897 ソロモンの宮殿が完成・神殿奉獻

40

BC 880

390 (40)

BC 490 バビロンに捕囚となる

490

エレミヤ 25:11 この地はすべて廃墟となり荒れ果て、これらの国々はバビロンの王に**70年**仕える。

70

エレミヤ 29:10 『バビロンに**70年**が満ちるころ、わたしはあなたがたを顧み、

あなたがたにいくつしめの約束を果たして、あなたがたをこの場所に帰らせる。

2歴 36:21 エレミヤによって告げられた主のことばが成就して、この地が安息を取り戻すためであった。

その荒廃の全期間が**70年**を満たすまで、この地は安息を得た。

レビ26:34-35 その地が荒れ果て、あなたがたが敵の国にいる間、その地は休む。そのとき地はその安息を享受する。

・・・それは、あなたがたがそこに住んでいたとき、あなたがたの安息のときには得られなかつたものである。

BC 420 バビロンから帰還開始 + ダニエル70週の預言

490

ダニエル 9:24-27 あなたの民とあなたの聖なる都について、**70週**が定められている。それは、背きをやめさせ、罪を終わらせ、咎の宥めを行い、永遠の義をもたらし、幻と預言を確証し、至聖所に油注ぎを行うためである。それゆえ、知れ。悟れ。エルサレムを復興し、再建せよとの命令が出てから、油注がれた者、君主が来るまでが**7週**。そして苦しみの期間である**62週**の間に、広場と堀が造り直される。その**62週**の後、油注がれた者は断たれ、彼には何も残らない。次に来る君主の民が、都と聖所を破壊する。その終わりには洪水が伴い、戦いの終わりまで荒廃が定められている。彼は**1週**の間、多くの者と堅い契約を結び、**半週**の間、いけにえとささげ物をやめさせる。忌まわしいものの翼の上に、荒らす者が現れる。そしてついには、定められた破滅が、荒らす者の上に降りかかる。

AD 70 エルサレム陥落

ヨシua14:7 主のしもべモーセがこの地を偵察させるために、私をカデシ・バルネアから遣わしたとき**40歳**でした。ヨシua24:29 ヌンの子ヨシuaは**110歳**で死んだ。

BC 1327 荒野40+カナン平定30

BC 920 ソロモンの治世がはじまる

1列 11:42 ソロモンがエルサレムで全イスラエルの王であった期間は、**40年**であった。

王国分裂

エゼキエル 4:4-6 あなたは左脇を下にして身を横たえ、イスラエルの家の咎をその上に置け。あなたがそのように横たわっている日数だけ彼らの咎を負え。わたしはあなたのために、彼らの咎の年数を日数にして**390日**とする。・・・次に右脇を下にして身を横たえ、ユダの家の咎を**40日**間、負わなければならない。わたしは一年を一日としてあなたに課す。

7週（49年） 神殿と城壁の再建

ゼカリヤ 4:14 これらは、全地の主のそばに立つ、二人の油注がれた者だ。（総督ゼルバベルと大祭司ヨシua）

62週（434年）

1週（7年） 大患難

マタイ 24:15 預言者ダニエルによって語られたあの『荒らす忌まわしいもの』が聖なる所に立っているのを見たら